

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスデジジー

支援プログラム

作成日

2026年

3月

23日

| | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|----|-------|---------|-------|---|----|
| 法人（事業所）理念 | | <p>少しずつ認知はされはじめたものの、本当の意味で「療育」という言葉の理解はされていないというのが現状です。 デジジーでは、療育を施設の中だけのものとは、考えません。 親御さんや祖父母様、相談支援員や学校のカウンセラーの方々みなで協力することが本当の療育と考えます。 0歳～18歳までと、一見長いようで、でもあっという間に過ぎていってしまう時間を、私たち支援者は1日たりとも無駄にはしてはなりません。過ぎてしまえば決して取り戻すことの出来ない貴重な時間だということを、決して忘れてはならないのです。 以上のことを常に胸に留め、冒頭の花ことばの通り、デジジーでは「希望」を持って意味のある支援・質の良い支援をしてまいります。</p> | | | | | | |
| 支援方針 | | <p>アットホームな空間で、施設内は全体を見渡せるスペースになっており 居心地のいい場であることを大切にしています ママ達の不安に寄り添いご希望に添ったサービス内容を一緒に考えたい 親御さんと子ども達の味方でいたいのが私たちの信念です</p> | | | | | | |
| 営業時間 | | 平日 | 9時 | 30分から | 19時 | 30分まで | 送迎実施の有無 | あり |
| | | 学校休業日 | 9時 | 30分から | 18時 | 30分まで | | |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <p>○身だしなみや衛生管理（排泄・入浴・着替え等）○食事や買い物のマナーなど様々なマナー○掃除・片付け○公共のマナー・買い物等の実践プログラムを取り入れる。 健康状態の維持・改善・生活習慣やリズムの形成・基本的な生活スキルの獲得</p> | | | | | | |
| | 運動・感覚 | <p>○姿勢保持や運動・動作の基本的技能の向上○粗大運動と微細運動の強化○保有感覚の活用○感覚の特性への対応 公園外出イベントの定期的な実施 感覚遊び（さまざまな感覚）工作等を通して手先の運動 感覚過敏用のイヤマフ等の環境設定</p> | | | | | | |
| | 認知・行動 | <p>○日付の確認・気温・天気等の確認○時間・スケジュール管理○空間認知（ブロック等）○適切な行動形成（状況の判断）○衝動のコントロール○行動の切り替え 認知特性の理解と対応・適切な認知と行動の習得 季節の変化などの感性形成の為の外出イベントの実施</p> | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <p>○気分や気持ちの言語表出・受容○振り返りでの言語表出・受容○会話のマナー○特性に応じた読み書き○絵や絵カードを使っでの視覚化○状況にあわせてコミュニケーション コミュニケーションの基礎的能力の向上・言語の表出と受容・コミュニケーション手段の選択と活用 他者との関わりや語彙の引き出しをふやす為の声かけや適切な例示</p> | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | <p>○挨拶○情緒の安定○自己表現○他者理解○他者との関わり（人間関係）の形成○自己理解と行動の調整○友達つくりと集団参加 挨拶や他者との関わりかたを学び、社会性の向上 自己表現や他者理解の方法を学ぶ</p> | | | | | | |
| 家族支援 | | <p>○定期面談 学校・教室・家庭での様子の情報共有を行う 家族からの相談に対する適切な助言等○障害特性に配慮した家庭環境の整備</p> | | | 移行支援 | | <p>○関係機関連携 関係機関と情報共有を図る（学校・相談支援事業所・児童相談所等）</p> | |
| 地域支援・地域連携 | | <p>○学校・他事業所との情報連携や調整・支援方法や環境調整等に関する相談</p> | | | 職員の質の向上 | | <p>○事業所研修（入社時）月一回のケース会議 定期研修を実施</p> | |
| 主な行事等 | | <p>○毎週土曜日 料理・外出・買い物体験・レクリエーション・工作等のイベント実施○夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・水遊び等季節に応じた活動の実施 年4回から6回程度で親子イベントを実施（調理や製作等）</p> | | | | | | |